施策の評価シート（令和５年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画、津市第3次健康づくり計画、津市教育振興ビジョン後期基本計画			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（番号）			001	～	004	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。	A	③	こども政策課
002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。	A	①	教育研究支援課
003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。	A	①	保険医療助成課
004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。	A	①	健康づくり課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	計画どおりに出会い応援事業として独身男女の出会いを支援するイベントや相談会等を実施するとともに、中学生を対象としていた産婦人科医や助産師などによる保健指導は小学生まで対象を広げ、不妊治療・不育症治療に対する医療費助成は拡充を図るなど、出会い・結婚・出産しやすい環境づくりが進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101001
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容		事業の目的	事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
001-1	出会い応援事業	こども政策課	独身男女の出会いを支援するイベント及び出会いに係る相談会等の実施	効	婚活イベント、相談会及びセミナーに参加する	◆ 年3回のイベント、年4回の相談会等の実施	◎	計画通り事業を実施することができ、各事業の参加者の満足度も高かった（イベント79%、相談会96%等）ため「◎」とした。 市が実施するイベントなので安心して参加できるという声も多く、今後も参加者のニーズを確認しながら事業内容を検討していく。
				誰	出会いや結婚を希望する独身男女及びその家族	◇ 参加者の満足度（イベント75%、相談会80%等）	◎	
				何	婚活イベント等に参加することで、希望をかなえるきっかけとなる	724（千円）	現状維持	
001-2	少子化対策地域支援活動事業	こども政策課	結婚・妊娠・出産・育児の一貫した「切れ目ない支援」を目的とした少子化対策事業の実施	効	市内に活動拠点を有する民間非営利団体が、補助金を活用して開催する出会いの場に参加する	◆ 民間2団体への補助	△	実施された婚活イベントへの参加者は昨年比で16名増加の47名となり、カップルが8組成立する等一定の成果が認められるものの、応募団体は昨年度に続き1団体となった。県が実施するイベントも増加してきており、応募団体の増加を図るのではなく、募集団体数の検討が必要。 ※令和6年度から募集を1団体に変更済み。
				誰	結婚を希望する独身男女	◇ 婚活イベント等への参加者数	○	
				何	婚活イベント等に参加することで、希望をかなえるきっかけとなる	84（千円）	見直し	
001-3				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
001-4				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和5年度分）

001-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
001-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
001-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
001-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	③

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	③				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101002
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン後期基本計画（令和5年度～令和9年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価			事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画		実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点		事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）		今後の方向性	
002-1	思春期ライフプラン教育事業	教育研究支援課	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、生徒等を対象に保健指導の実施	効	保健指導の実施により、生徒の自己肯定感を高める。思春期の性や妊娠出産等についての知識の普及。	◆	津市立の中学生（義務教育学校後期課程生を含む）を対象に実施する	◎	全20校で3,475人の生徒に対して事業を実施することができ、保護者が参加する学校もあった。 各校の実績報告書から、生徒が自身の性や生き方について積極的に学んでおり、期待される効果に対して成果があったと考えられる。 今後も継続して事業を実施する。
				誰	市内の中学生（義務教育学校後期課程生を含む）	◇	全ての中学校（義務教育学校含む）で実施	◎	
				何	生徒が自身の性について知り、将来や生き方について主体的に考えることができる	360（千円）		現状維持	
002-2	小学生ライフプラン教育事業	教育研究支援課	産婦人科医や助産師などの専門家を小学校に派遣し、児童等を対象に保健指導の実施	効	保健指導の実施により、児童の自己肯定感を高める。相手に対する近いや思いやり、家族観の醸成を図る。	◆	津市立の小学生（義務教育学校前期課程生を含む）を対象に実施する。	◎	全49校で2,188人の児童に対して事業を実施することができ、保護者が参加する学校もあった。 各校の実績報告書や授業の様子から、児童が自身の誕生や成長等について積極的に学んでおり、期待される効果があったと考えられる。 今後、各校への指導の充実を検討する。
				誰	市内の小学生（義務教育学校前期課程生を含む）	◇	全ての小学校（義務教育学校含む）で実施	◎	
				何	相手に対する理解や思いやり、家族観の醸成を図ることで、将来のライフプランを考える基礎を培う	245（千円）		拡充・充実	
002-3				効		◆			
				誰		◇			
				何		（千円）			
002-4				効		◆			
				誰		◇			
				何		（千円）			

施策の内容評価シート（令和5年度分）

002-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
002-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
002-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
002-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
002-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101003
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画					
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
003-1	医療費助成事業	保険医療助成課	不妊治療、不育症治療に対する医療費の助成	効	子どもを望む夫婦が治療を受ける機会が増える	◆ 助成を希望する全員への助成	○	令和4年4月から不妊治療が保険適用となったことから、新たな特定不妊治療費助成制度を創設し、令和5年度からは一部対象者を拡充した。引き続き効果的な事業となるよう進めていく。 ※令和5年度助成実績 不妊治療費282件 不育症治療費30件
				誰	不妊治療、不育症治療を受ける夫婦	◇ 請求、申請に基づく適正な給付実施100%	◎	
				何	経済的負担の軽減	15,654（千円）	現状維持	
003-2				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
003-3				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
003-4				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和5年度分）

003-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
003-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
003-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
003-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101004
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画		津市第3次健康づくり計画（平成29年度～令和5年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価			事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画		実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点		事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）		今後の方向性	
004-1	妊婦一般健康診査事業	健康づくり課	母体や胎児の健康確保、経済的負担の軽減を図り、安心して産み育てる環境づくりを推進するため、妊婦健康診査（公費負担14回）を実施	効	妊娠中に健康診査を受診する機会が確保でき、安心安全に出産が迎えられる。緊急医療対応が減ること、母子の生命が守られる。	◆	14回分の妊婦一般健康診査の提供	○	妊娠初期より健康診査を受診し体調管理することが必要。満11週以内の妊娠届率は94.8%だったが妊娠中期となる満20週以降の届出もあり「○」とした。妊娠届出後は無料で健診が受診できること、早期からの健診の必要性を伝え、妊娠による経済的、精神的な負担を軽減し、全ての妊婦が健康診査を受けられるように進める。
				誰	妊娠届を提出した妊婦	◇	満11週以内の妊娠届率	○	
				何	健康管理により健康維持が図られる。	133,871（千円）		現状維持	
004-2	養育医療事業	健康づくり課	身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児の養育上必要な医療の給付	効	保護者が経済的な負担を心配することなく、入院を必要とする乳児に対し、必要な医療を提供できる。	◆	養育医療申請者への養育医療提供	◎	給付率99.0%（申請件数99件、給付件数　98件）申請があった者に対して、給付することができたため「◎」とした。養育医療受給件数は、5年間で平均90件、単年で増減あるが横ばい。申請に対しての給付に努める。
				誰	出生体重が2，000グラム以下の者、または、生活力が特に薄弱であり、一定の症状を有する者。	◇	給付率	◎	
				何	出生後、医師の診断で必要となる乳児に速やかに適切な医療を受けられるようにする。	23,569（千円）		現状維持	
004-3	産後ケア事業	健康づくり課	産後の育児不安が強い方で、家族等からの支援が得られない場合に、宿泊・通所・訪問で母子の心身のケアや育児サポートを実施	効	産後の疲労回復や育児不安を軽減できる	◆	産後ケア対象者へのケア提供	◎	産後ケアを希望する者は全員利用することができており、産後ケア提供数38人、産後ケア利用後アンケートでは、全体を通しての結果を良かった、まあまあ良かったと回答する者が91%だったため「◎」とした。 国は、令和6年度にガイドラインを改定し、産後ケアは広く利用できるユニバーサルサービスとしていくことを明確化させることから、事業の拡充を図る。
				誰	産後1年未満の産婦	◇	産後ケア利用者満足度	◎	
				何	産後の心身のケア、育児不安へのサポートを行い、産後早期から安心して育児ができる体制を整える。	4,370（千円）		拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

004-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
004-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
004-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
004-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
004-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.